

⑧市民の文化芸術に関するアンケート調査

市民の文化芸術に関するアンケート調査結果をもとに、枚方市における文化芸術活動の現状を分析しました。

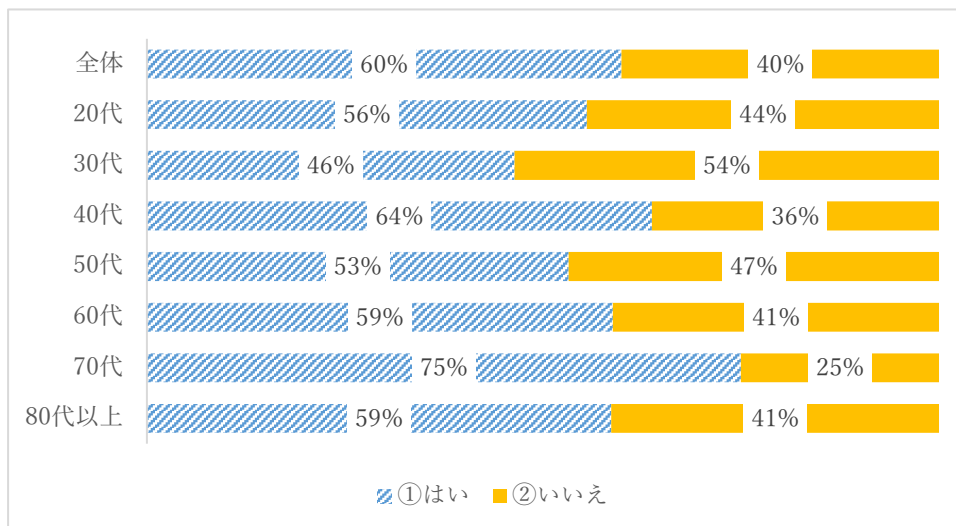
(1) 市民の芸術に関するアンケート調査実施概要

調査対象	市政モニターとして登録している 18 歳以上の市民の方
調査方法	インターネットまたは郵送
調査期間	令和 5 年 8 月 9 日～25 日
回収率	78.6% (389 件/495 件) 内訳 インターネット : 74.8% (291 件/389 件) 郵送 : 92.5% (98 件/106 件) (20 代 : 9 名、30 代 : 56 名、40 代 : 80 名、50 代 : 77 名、80 代以上 : 29 名)

<文化芸術活動について>

【文化芸術の「鑑賞」についておたずねします】

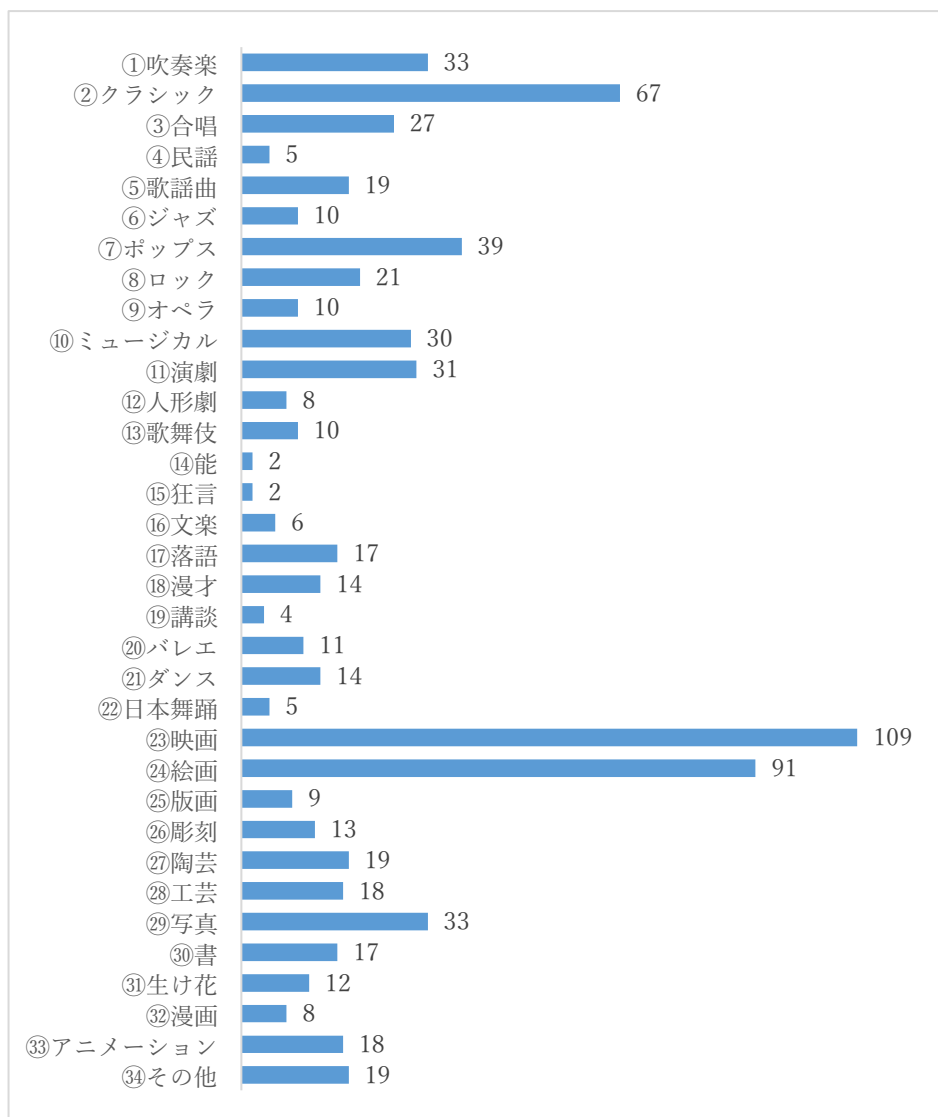
問 1. この 1 年間に文化芸術の鑑賞経験はありますか。



全体としては、鑑賞経験があると回答した方は全体の約 60%、ないと回答した方は全体の約 40 パーセントとなりました。最も鑑賞経験があると回答したのは 75% の 70 代で、最も少なかったのは 30 代の 46% でした。

【問1で①を選択した方にお聞きします。】

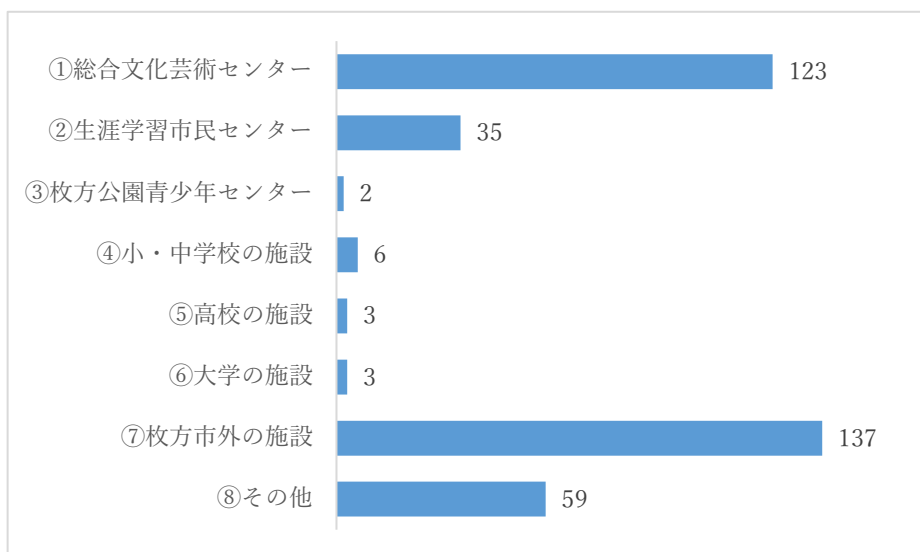
問2. この1年間に、ホールや映画館、美術館などで鑑賞した文化芸術について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)



この1年間に鑑賞した文化芸術があると回答した方の中で一番多いのは109件で「映画」、次いで91件の「絵画」、67件の「クラシック」と続きました。

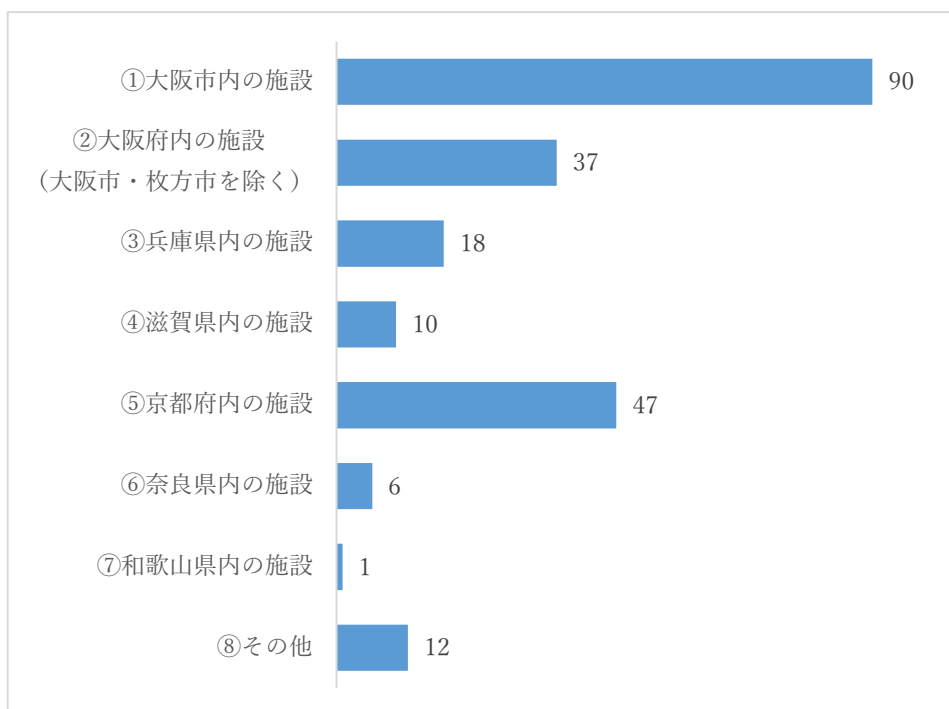
反対に最も少ないのは、「能」、「狂言」でともに2件、次いで4件の「講談」という結果になりました。

問3. 鑑賞したのは、どちらの施設ですか。(複数回答可)



【問3で⑦を選択した方にお聞きします。】

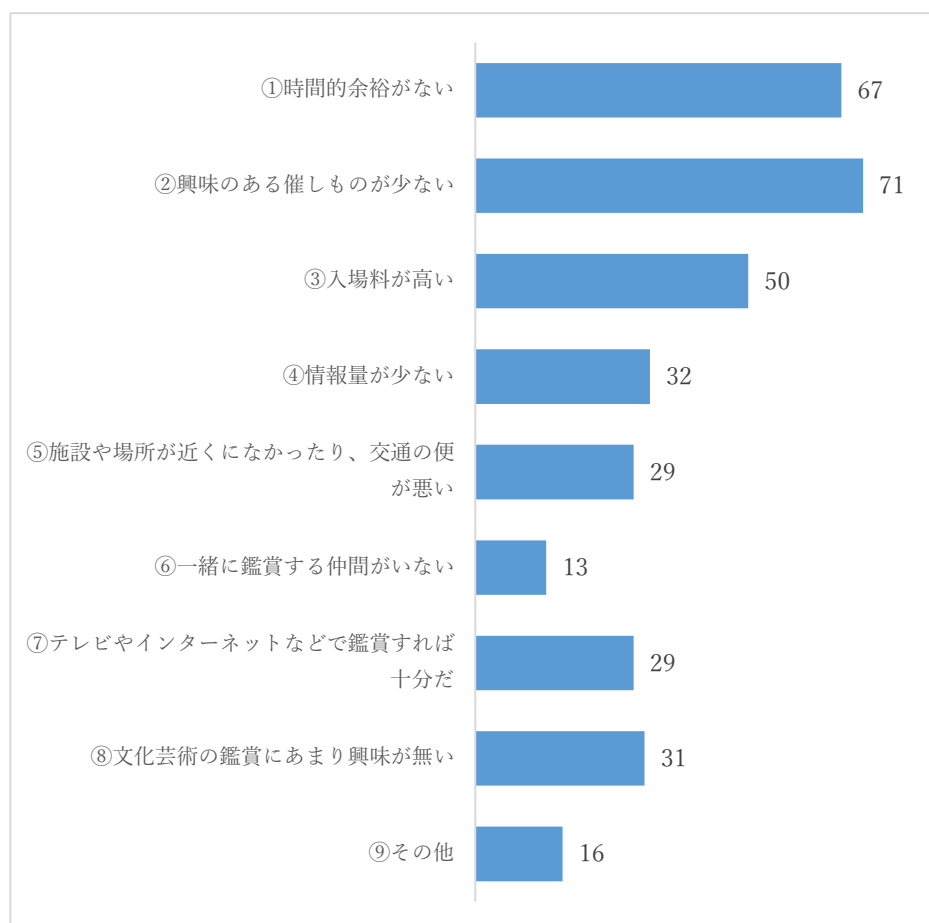
問4. 枚方市外で鑑賞の際利用した施設について、あてはまるものを選んでください。
また、施設名を具体的に3つまでご記入ください。



鑑賞した施設で最も多かったのは、枚方市外の施設ですが、次いで多かったのは総合文化芸術センターであり、1年間の内に鑑賞経験があると回答数した人の内、半数を超す123人が総合文化芸術センターで文化芸術の鑑賞を行っていました。文化芸術の拠点施設として枚方市民に浸透しつつあることがうかがえます。

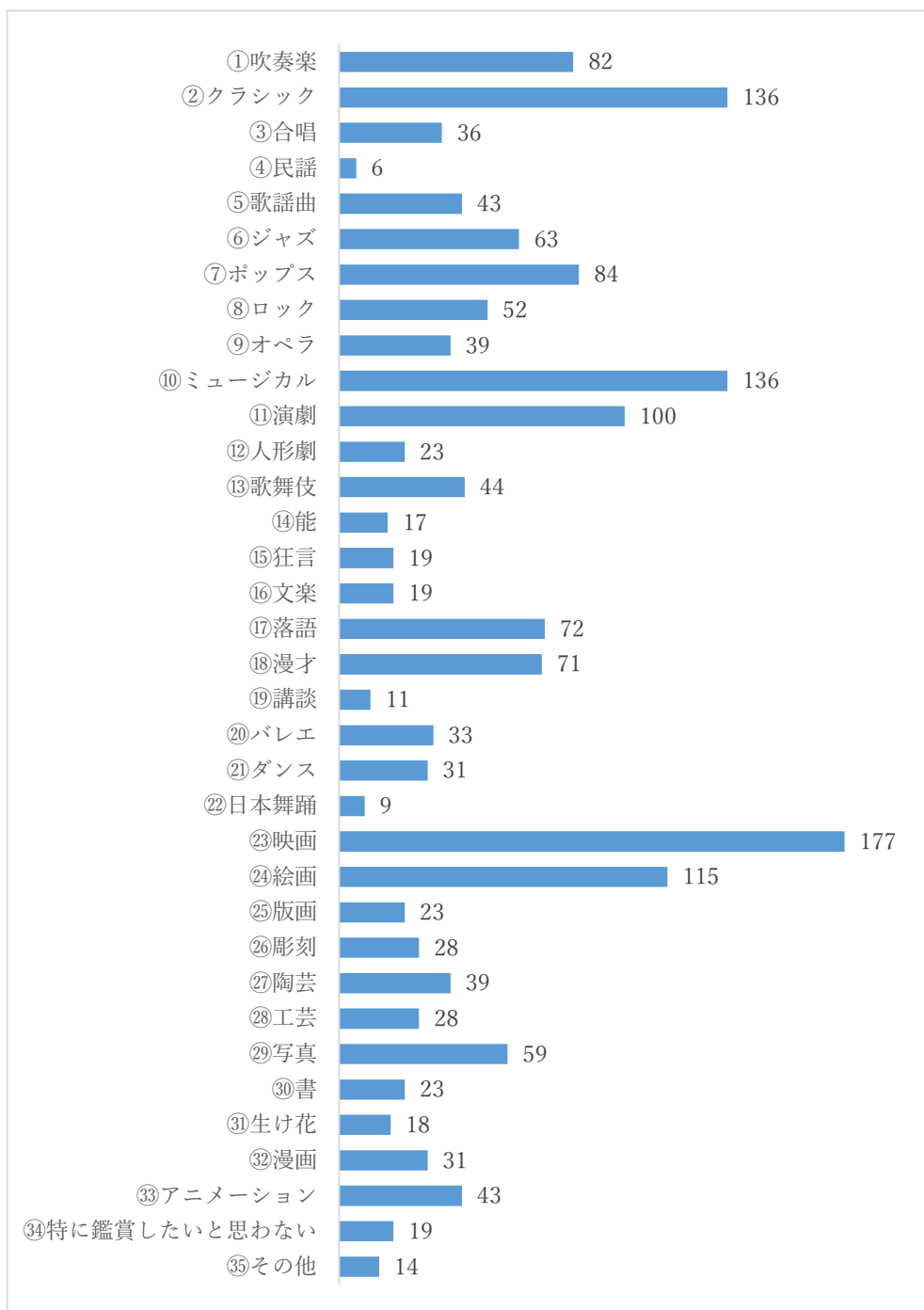
【問1で②を選択した方にお聞きします。】

問5. 文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。(複数回答可)



文化芸術の鑑賞をしなかった理由として一番多かったのは、71件の「興味ある催しものが少ない」で、次に67件の「時間的余裕がない」、50件の「入場料が高い」と続きました。反対に「一緒に鑑賞する仲間がいない」を理由として選んだのは13件と最も少ない結果になりました。

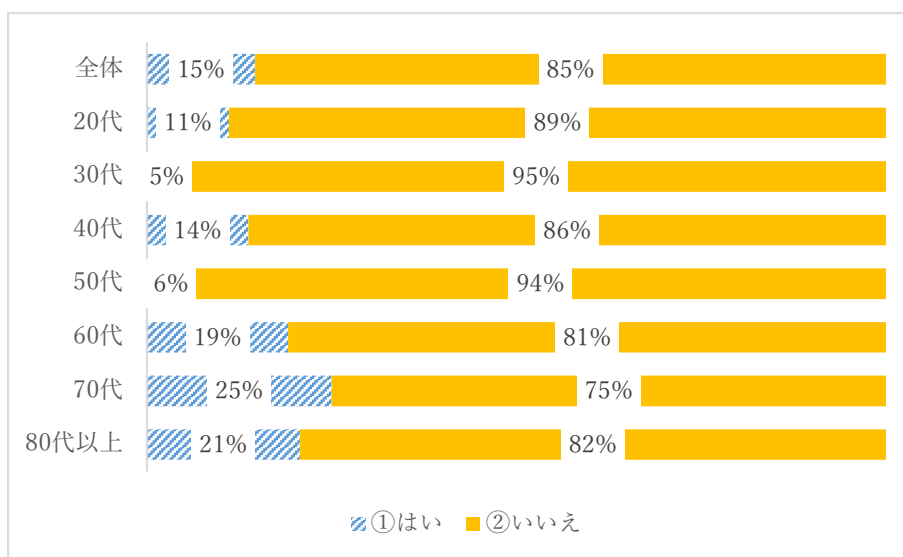
問6. 今後、どのような文化芸術を鑑賞したいと思いますか。(複数回答可)



今後鑑賞したい文化芸術の分野として一番回答が多いのは、177件の「映画」、次いで、「クラシック」と「ミュージカル」が同数の136件となりました。その次の多かったのは絵画の115件で、100件の演劇が続きます。鑑賞の実績でも一番回答の多い「映画」は最も身近な文化芸術であることがうかがえます。「特に鑑賞したいと思わない」と回答があったのは19件のみで、市民の大半は文化芸術の鑑賞を希望していることがわかります。

【文化芸術の「活動」についておたずねします。】

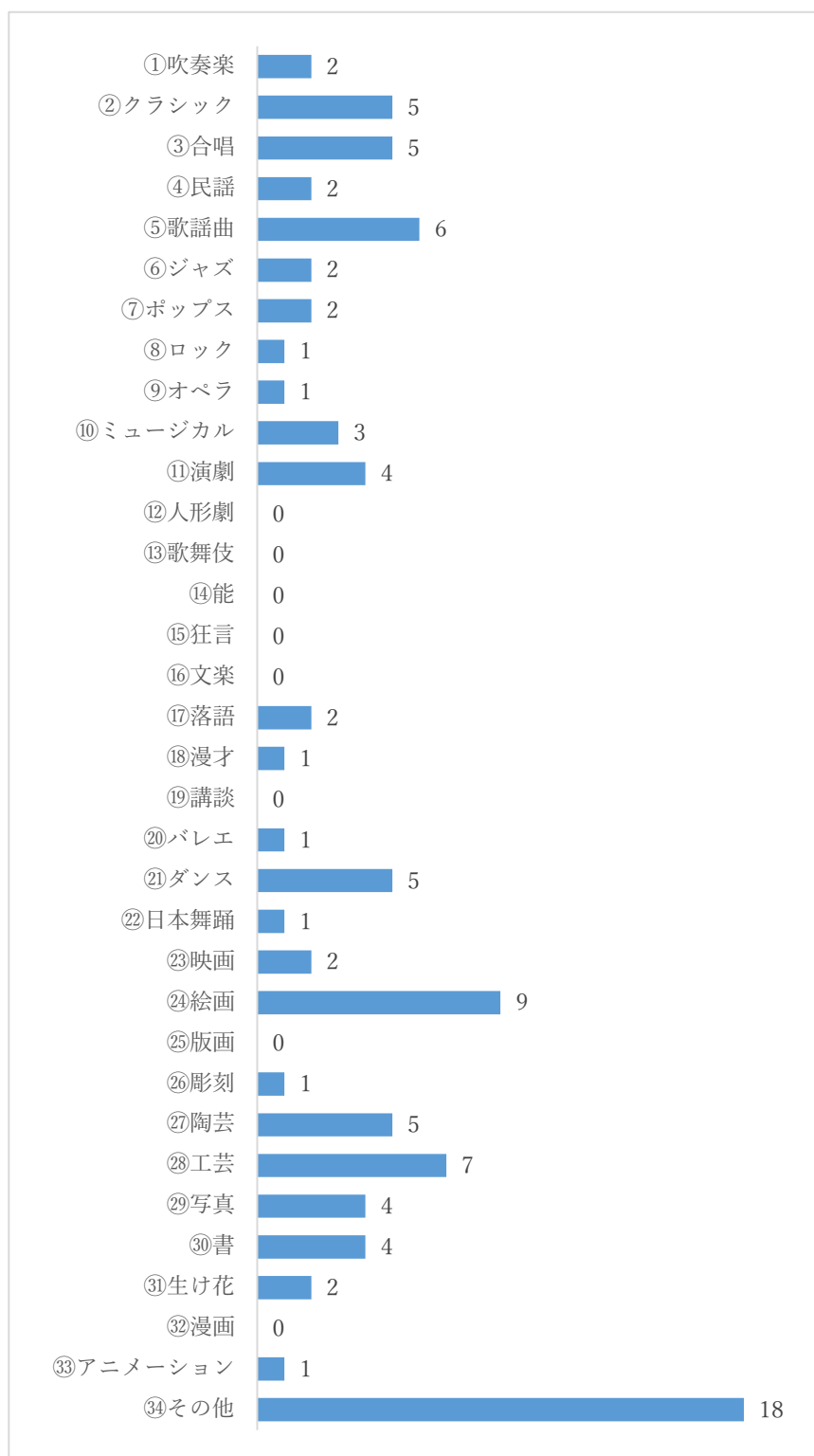
問7. この1年間に文化芸術の分野で活動されましたか。



文化芸術の分野で「活動した」と回答したのは、全体の約15%であり、多くの市民は自主的な文化芸術の活動を行えていない状況です。年代別に見てみると、最も少ないのが、30代の5%、次いで50代の6%という結果でした。反対に、活動したと回答したのは70代が最も多く25%、80代以上の21%と続きました。現役世代文化芸術の活動機会が少ないのが現状です。

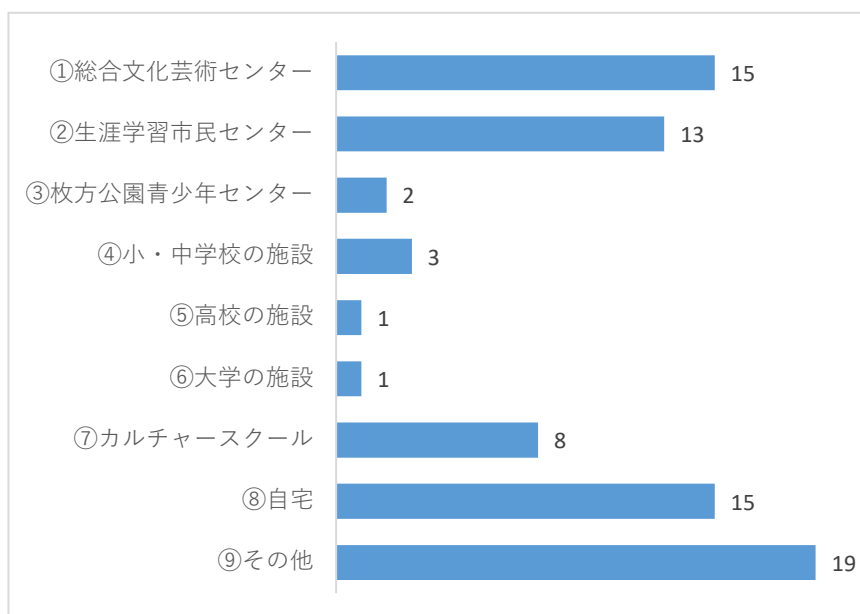
【問7で①を選択した方にお聞きします。】

問8. この1年間に、どのような文化芸術の分野で活動されましたか。あるいは活動されていますか。(複数回答可)



最も回答が多いのは、絵画の9件、次いで歌謡曲の6件、同率5件でクラシック、合唱、ダンスの順でした。その他の回答の意見としては、茶道や動画編集、俳句などがありました。

問9. 活動したのは、どちらの施設ですか。(複数回答可)



活動した施設として最も多かったのは15件の同数で「総合文化芸術センター」と「自宅」という回答でした。複数名で集まり活動するという観点では、「総合文化芸術センター」が最も多いと考えられます。市民の文化活動の場としても総合文化芸術センターが重要な施設になりつつあることがうかがえます。

【問7で②を選択した方にお聞きします。】

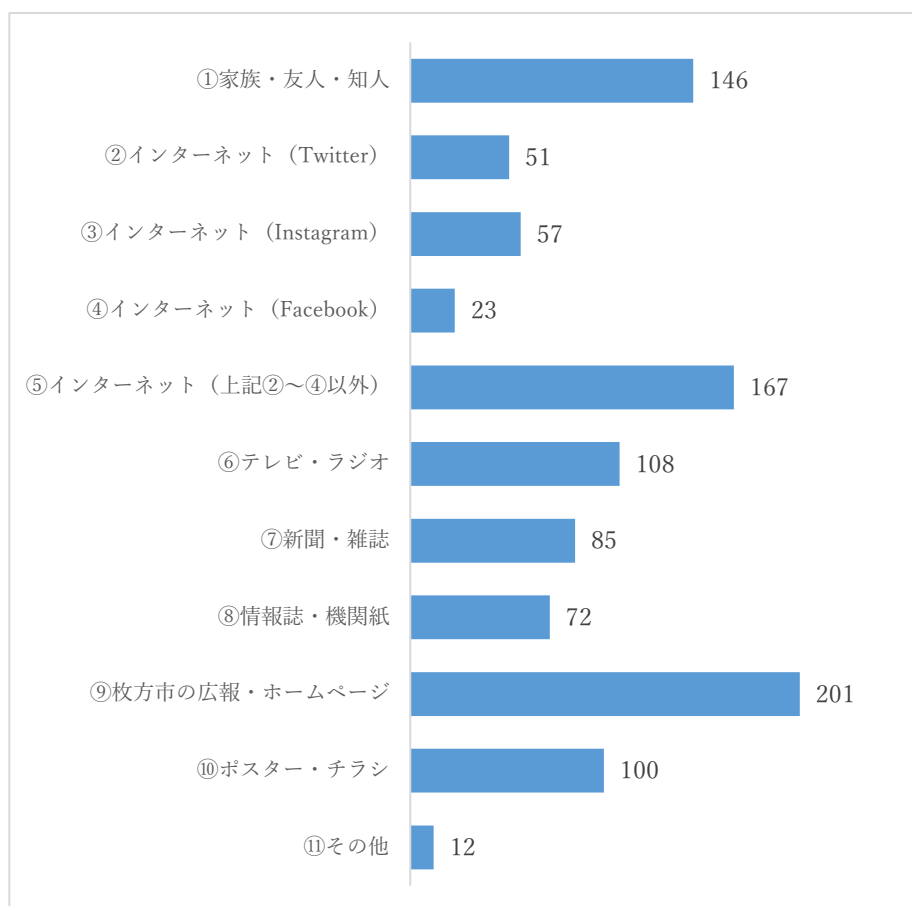
問10. 文化芸術の活動をされなかったのはなぜですか。(複数回答可)



活動しなかった理由として1番多いのは、145件の回答があった「時間的余裕がない」でした。文化芸術を鑑賞しなかった理由の2番目に回答が多かったこともあり、文化芸術に時間を割く余裕のない人が多い状況であることがわかります。2番目に多かった回答としては、「文化活動にあまり関心がない」が90件で3番目は同率で「受講料や参加費が高い」「活動に関する情報が少ない」で72件でした。

問 11. 文化芸術の「情報」についておたずねします。

公演や展示会などの文化芸術情報は、主に何から入手していますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

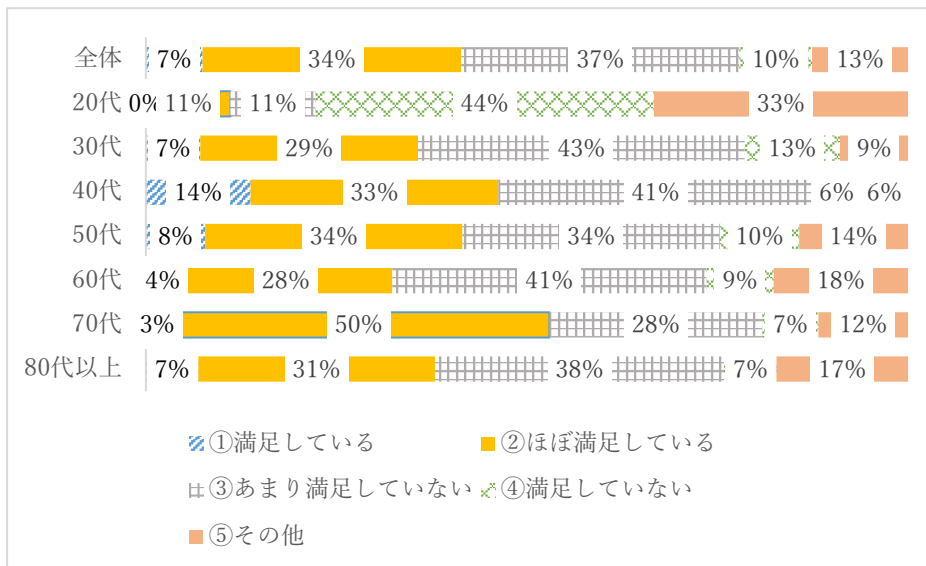


情報を得る方法として最も多いのは、「枚方市の広報・ホームページ」でした。全回答者数 389 人の内、約 52%の人が文化芸術の情報を枚方市の広報・ホームページから得ている状況です。その次に 167 件の「インターネット」(Twitter、Instagram、Facebook を除く)、「家族・友人・知人」が 146 件と続きました。

<文化芸術によるまちづくりについて>

【枚方市の「文化芸術環境（鑑賞機会、活動機会、施設の充実度など）」についておたずねします。】

問 12-1. 枚方市の文化芸術環境（鑑賞機会、活動機会、施設の充実度など）に満足していますか。



文化芸術環境の満足度としては、「満足している」・「ほぼ満足している」と回答したのは41%で、「満足していない」・「あまり満足していない」と回答した46%を下回る結果となりました。

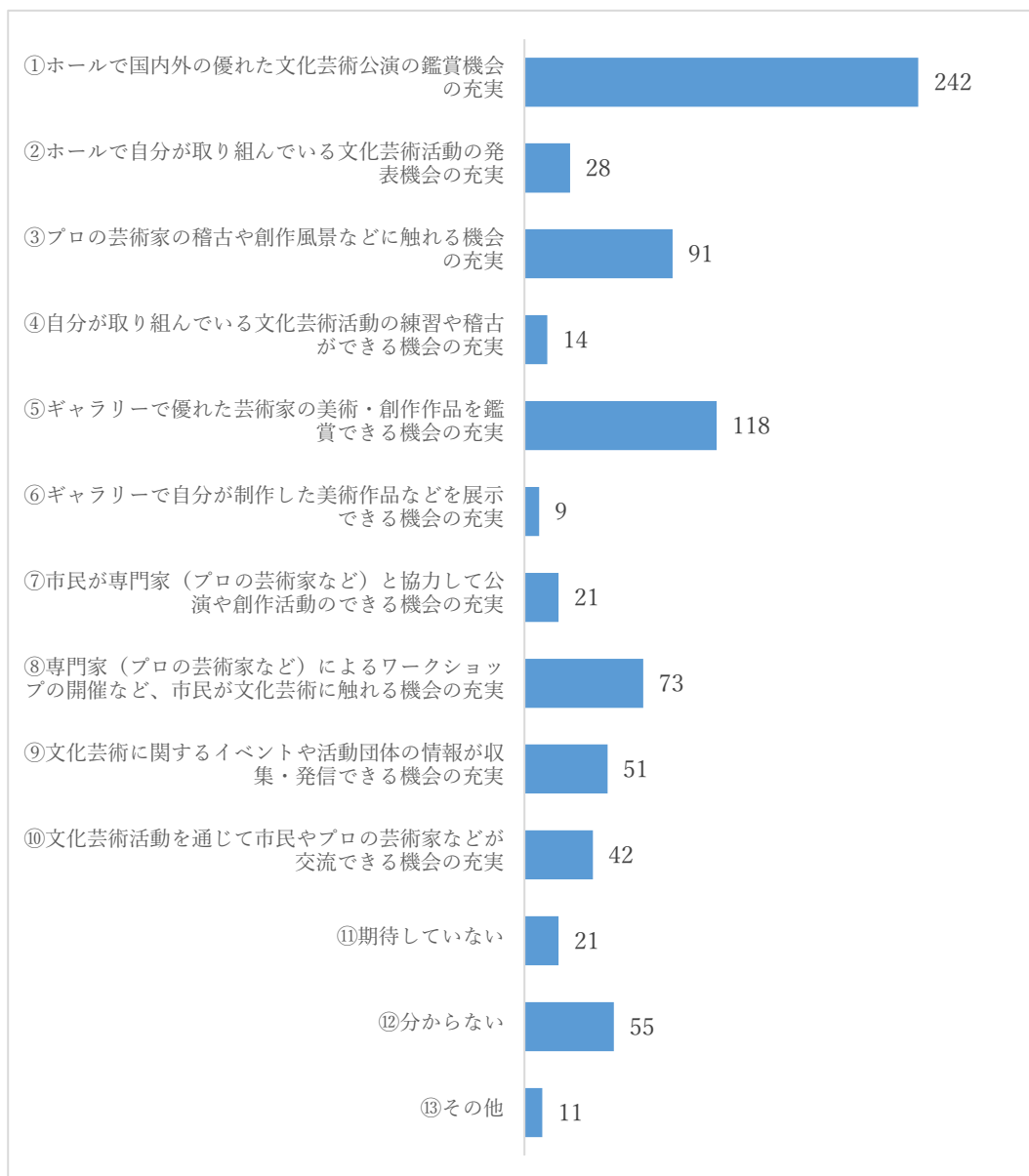
年代別の割合をみると、20代は「満足している」と回答したのが0%であったのに対し、「満足していない」と回答したのが44%であり、「満足していない」と回答した割合が2番目に多かった30代の13%を大きく上回る結果となりました。「満足している」・「ほぼ満足している」と回答した割合が高い年代は70代の53%、次いで40代の47%でした。

問 12-2. その理由をお聞かせください。

「満足している」・「ほぼ満足している」と回答した人の中であった意見としては「施設が充実し、コンサートなども頻繁に行われている」「立派な総合文化芸術センターができてよかった」「入りやすい生涯学習市民センターが各地にあることも良い」などがありました。

「満足していない」・「あまり満足していない」と回答した人の意見としては、「鑑賞したいような催しが少ない」、「宣伝が足りない」、「子ども向け、赤ちゃん向けのものを増やしてほしい」「料金が高い」「総合文化芸術センターまでの距離が遠い」「日程が合わないことが多い」といった意見がありました。

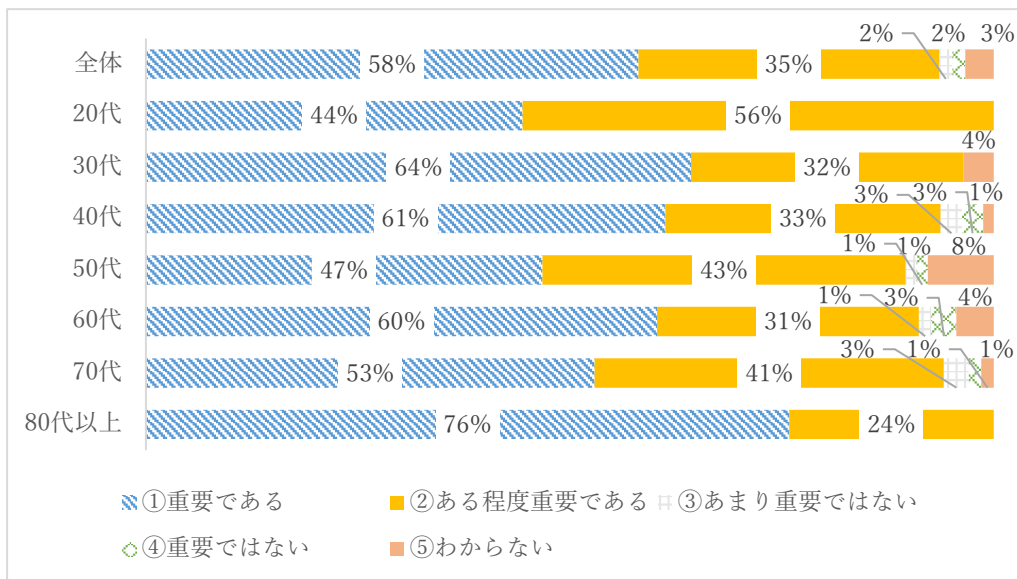
問 13. 枚方市は令和3年8月に文化芸術の拠点施設として、総合文化芸術センターを開館しましたが、今後このセンターに期待することについて、あてはまる番号を選んでください。（主なもの3つまで）



総合文化芸術センターに期待することとして、回答が多かったのは、「ホールで国内外の優れた文化芸術公演の鑑賞機会の充実」で 242 件の回がありました。次いで「ギャラリーで優れた芸術家の美術・創作作品を鑑賞できる機会の充実」の 118 件で、91 件の「プロの芸術家の稽古や創作風景などに触れる機会の充実」が続きました。

【次代を担う「子どもの文化芸術体験」についておたずねします。】

問 14. 子どもの文化芸術体験は重要だと思いますか。

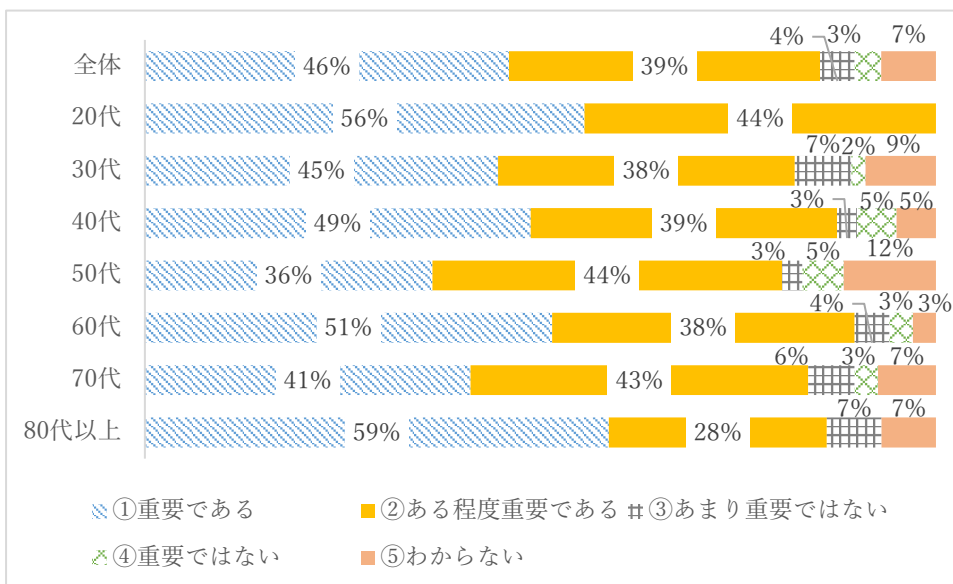


子どもの文化芸術体験について、「重要である」・「ある程度重要である」と回答したのは全体の93%とほとんどの市民が子どもの文化芸術体験を重要だと考えている状況です。20代と80代以上は全員が「重要である」・「ある程度重要である」と回答し、30代も96%の人が回答しました。

「重要でない」・「あまり重要ではない」と回答した割合がもっとも多かったのは、50代の9%という結果になりました。

【文化芸術の振興を図るために、地域の文化芸術を担う「人材の育成」についておたずねします。】

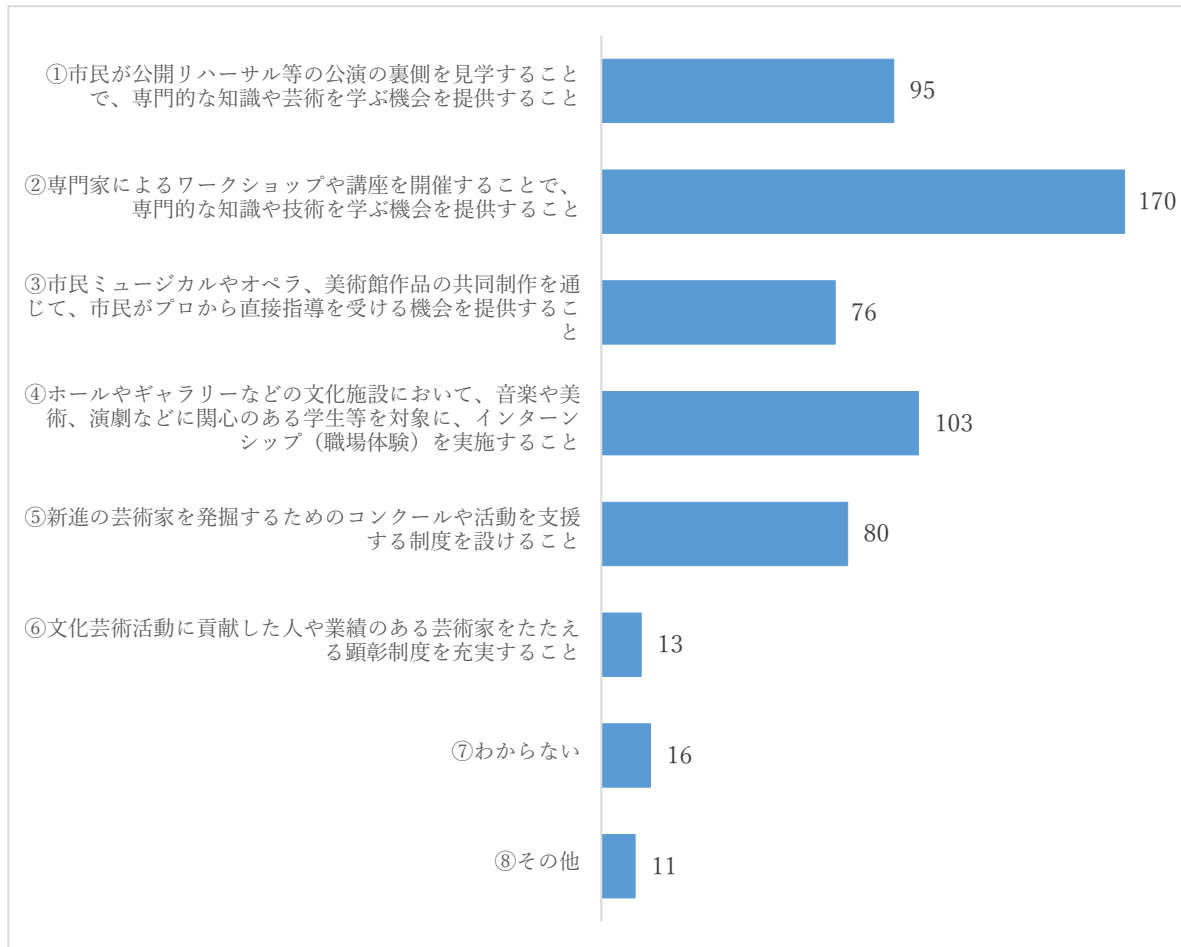
問 15. 文化芸術の振興を図るために、地域の文化芸術活動の担い手となる人材の育成を行うことは重要だと思いますか。



人材の育成が重要だと考える人の割合は全体の 85%となっており、多くの市民が文化芸術の担い手の育成を重要視しています。20代はすべての人が「重要である」・「ある程度重要である」を回答しました。

【問 15 で①②を選んだ方にお聞きします。】

問 16. 文化芸術を担う人材の育成のために、具体的に重視すべき取り組みは、どのようなことだと思いますか。(主なもの2つまで)

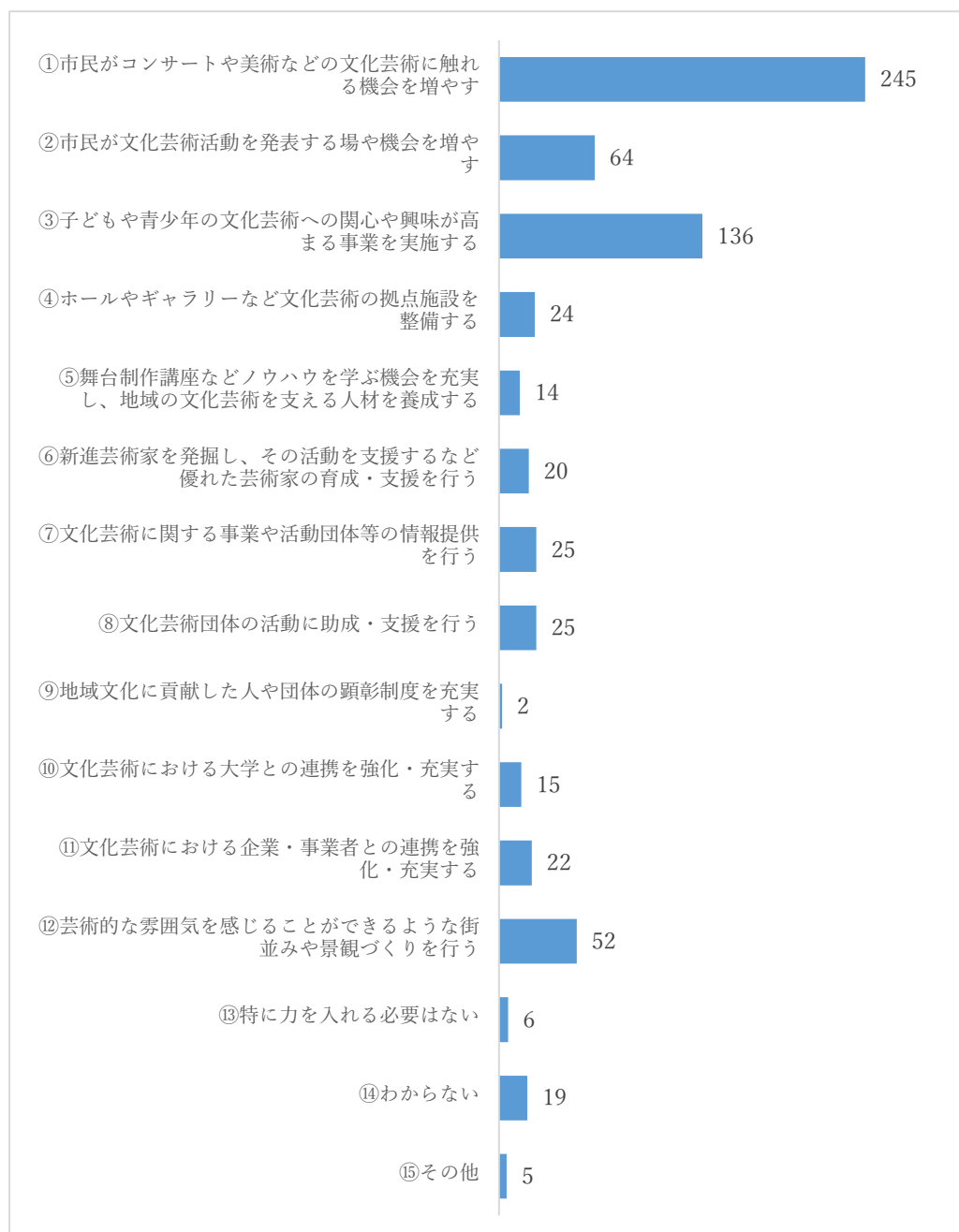


文化芸術を担う人材を育成する上で重視すべきこととして回答が多かったのは、「専門家によるワークショップや講座を開催することで、専門的な知識や技術を学ぶ機会を提供すること」で170件の回答がありました。

次に多かったのは、「ホールやギャラリーなどの文化施設において、音楽や美術、演劇などに関心のある学生等を対象に、インターンシップ（職場体験）を実施すること」で103件、「専門家によるワークショップや講座を開催することで、専門的な知識や技術を学ぶ機会を提供すること」が95件でした。

【文化芸術による「文化芸術にあふれたまちづくり」についておたずねします。】

問 17. 文化芸術にあふれたまちづくりを進める上で、「特に力をいれるべき取り組み」はどのようなことだと思いますか。（主なもの2つまで）



文化芸術にあふれたまちづくりに必要な「特に力をいれるべき取り組み」として一番回答が多かったのは、「市民がコンサートや美術などの文化芸術に触れる機会を増やす」で、245件の回答がありました。次に多かったのは「子どもや青少年の文化芸術への関心や興味が高まる事業を実施する」で136件が回答しました。直接文化芸術に触れられる機会のニーズが高いことがわかります。